

第18回 東北大学全学教育FD 実施要項

1. テーマ “東北大学におけるDPに基づく「学修成果の可視化」の試み”

大学教育の質保証に関して、各大学が「出口における質保証」に一層の責任を果たしていくことが要請されるようになってきています^{※1}。その際基本となるのは、各教育課程でディプロマ・ポリシー（DP）に定める学修成果（資質・能力）の可視化です。例えば、学位プログラムの集大成である卒業論文や修士論文であれば、各プログラム内で共通の評価基準を設定して総合的・客観的に評価するなど、学問分野の特性に応じて学修成果の測定・可視化の取り組みを進めていくことが必要となります。

そこで、令和5年度全学教育FDでは、本学の各分野における「学修成果の可視化」の取り組みについてご報告いただき、質疑・議論を行います。

※1 中教審大学分科会（2023）『学修者本位の大学の実現に向けた今後の振興方策について（審議まとめ）』。

2. 日時

令和6年3月4日（月）16:00～17:00（学務審議会終了後開催）

3. 実施方法

リアルタイムオンライン（収録の上、後日オンデマンド提供予定）

4. プログラム

16:00 開会・趣旨説明

教育情報・評価改善委員会副委員長 杉本 和弘

16:05 人文社会科学分野における取り組み：経済学部・経済学研究科

経済学研究科教務委員長 黒瀬 一弘

16:15 自然科学分野における取り組み：工学部・工学研究科

工学研究科副研究科長 服部 徹太郎

16:25 医歯薬学分野における取り組み：医学部・医学系研究科

医学系研究科教務委員長 高瀬 圭

16:35 全学教育における成績評価の信頼性向上に向けた取り組み

教育情報・評価改善委員会委員長 串本 剛

16:45 議論

16:55 閉会挨拶

学務審議会委員長

高度教養教育・学生支援機構機構長 滝澤 博胤

司会：教育情報・評価改善委員会副委員長 杉本 和弘